



愛知県立東浦高等学校

はなのきタイムズ
平成29年度 春号

新年度がスタートし、2ヶ月が過ぎようとしています。「卒業と入学」、すべての生徒が新しい環境の緊張感からも解放され、**落ち着いた雰囲気**のなかで授業や学校行事、部活動への取り組みが始まりました。

東浦高校は「**生徒の成長を第1に考える学校**」です。そのため、皆さんの個性・適性・希望を尊重し、2類型、1コース、多様な選択科目（保育、スポーツ、音楽美術等）を用意しています。

総合学科に近い「**選べる学校**」、それが在校生の明るい表情につながっていると感じます。

やさしい友達・熱心な先生方と、あなたの夢を実現しましょう。

昭和51年 東浦高校卒業
校長 伊藤和宏



東浦高校ってどんな学校



手厚く、きめ細かい指導が特徴だね
指定校もたくさんあるね

どんな学校？

- 昭和48（1973）年 刈谷高校東浦分校から独立・開校
- 創立45年目、卒業生は10,000人を超えた伝統校
- 校訓は「すぐれて ゆたかに たくましく」
- 全日制普通科 2つの類型・1つのコース
 - 特別進学類型 進路先は 大学・短大・専門学校
 - 総合類型 → 就職
 - 情報活用コース
- 1学年は5クラス200人 → これを1学年6クラスに分ける

どんな特色があるの？

<特別進学類型（特進）> 大学進学に特化した類型

- 大学進学を希望する生徒を対象としています
- 火・水は7限の週32時間の授業
- 1年生では国数英を中心に基礎から勉強します
- クラスを分けて少人数で授業をしています
- 進学は地元大学の指定校推薦が使えます
指定校推薦枠は約600校、例えば・・・
名城・中京・金城学院・愛知淑徳・椋山女子大学など

6時間だから部活も
思いっきり頑張れる！

1クラスの人数が
少ないんだね

名鉄でもそんなに時
間がかからないなあ

どんな特色があるの？

<総合類型> 東浦高校の中心となる類型
色々な進路希望に対応するための類型

- 高校3年間で卒業後の進路を見つけたい人向け
- 大学進学から就職まで幅広く対応しています。
- 授業は中学校と同じ1日6時間授業です。
- 少人数で授業を行っています。

★情報活用コース

- 2年生から分かれまず（定員40名）
- 情報関係の専門科目を2・3年生で12単位勉強します

通学も意外と便利

<自転車>

刈谷市
↓（約35分）
東浦高校

<JR東海道本線>

刈谷駅・東刈谷駅
野田新町駅
↓（JR東海道線）（10分）
大府駅（5分）
↓（JR武豊線）（10分）
東浦駅
↓（徒歩）（12分）
東浦高校

<名鉄河和線>

南加木屋駅
↓（急行河和行）（13分）
知多半田駅
↓（徒歩10分）
JR半田駅
↓（JR武豊線）（12分）
東浦駅
↓（徒歩）（12分）
東浦高校

～ 平成29年度 高校説明会のお知らせ ～

8月8日(火)午前9時から高校説明会を開催します。

「東浦高校って、どんな学校?」、この答えを自分で見つける絶好の機会です。たくさんの中学3年生の皆さんの参加をお待ちしています。

第2回は**11月11日(土)**を予定しています。



<昨年度の説明会の様子>



富山県立大学 工学部 環境工学科合格

平成 28 年度卒業生 齋藤和哉 (知立中学校)

私の夢は、地方公務員になって地域の街作りに携わることです。その夢に近づくためには、国公立大学の工学部に進学するしかないと思い、特別進学クラスに入ることを決めました。

特別進学クラスはとても落ち着いた雰囲気、集中して勉強に打ち込むには適した環境でした。受験勉強は正直大変でしたが、その苦勞が報われて本当に良かったです。大学でも学び続ける姿勢を貫いて、自分の夢に向かって一歩ずつ近づいていこうと思います。

これから東浦高校での高校生活を始める皆さん、東浦高校はそれぞれの目標に合った様々なコースが用意されていて、大学進学希望の私は大学受験に対応した環境で勉強できました。基礎的な授業だけでなく、補習でより発展した学習をすることができ、わからないことがあれば、どの先生も1対1で教えてくださるので、元々勉強がとても苦手だった私でも国公立大学に合格することができました。ぜひ夢を持って高校生活頑張ってください。

新たなスタート、卒業生の進路結果

この春の卒業生は、4大・短大 48 名、専門学校 48 名、就職 77 名でした。国公立大にも2名が進学し、就職では消防士や日本郵政にも進み、それぞれ強い意欲を感じました。

野球部、春の地区大会第3位！ 県大会出場 弓道部もインターハイ県大会出場!!



県大会では、県ベスト4になった栄徳高校に惜敗！しかし、確かな手応えを感じた試合でした。

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	E	B	H
東浦	1	0	1	1	2	0	0	0	0	5	13	2		
栄徳	2	2	0	0	1	0	0	1	X	6	10	2		



2年 石川恵理菜 (亀崎中)

活躍している卒業生・在校生を紹介します

平成 24 年度卒業生 小森総一郎君 (半田中学校)

彼は、東浦高校からトヨタ車体に就職しました。トヨタ車体では、自動車板金の技術を身につけるため日々努力し、技能五輪に出場するまでになりました。2016 年第 54 回技能五輪全国大会の自動車板金職種でトヨタ車体初の銅メダルを獲得しました。普通科高校から就職した者がこのような大きな賞を頂いたことは今までに無いことで、「高校生活で多くの体験をさせてもらい感謝している。」と話していました。



平成 25 年度卒業生 山本涼菜さん (東浦中学校)

彼女は、高校時代に野球部のマネージャーをしていました。その時に OB で作業療法士の方がトレーナーとして来てくださり、話を聞くうちに作業療法に関心を持つようになったそうです。専門学校に進む道もありましたが、部活動もやり、専門をじっくり学べる 中部大学 生命健康科学部 作業療法学科 に進学しました。2017.3 に中部大学の Monthly Chubu に選ばれました。



一全国高校選抜女子セvensラグビーフットボール大会に出場一

私は、名古屋レディース R・F・C に所属していて、愛知県代表として、春の全国大会に出場しました。結果は全国第 7 位でした。高校にはラグビー部がないため、日頃は特進クラスで一生懸命に勉強し、土日はレディースの練習に参加しています。勉強とスポーツの両立は大変ですが、東浦高校に入学したおかげでどちらも頑張ってることができます。

久保田 瑞希 2年生・東浦中学校

